



New Public Engineering for SHIZUOKA いっしょに、未来の地域づくり。



静岡県田子の浦港管理事務所 Tagonoura Port Administration Office

2 港湾施設

(1) 水域施設

Table with 2 columns: (1) 泊地 (Berth) and (2) 航路 (Route). Includes details like name, area, depth, and route type.

(2) 外郭施設

田子の浦港が面している駿河湾は、南西にむかって湾口が開いているため南西からのツネリをともに迎入れる。また、湾の奥まで海が深く切り込んでおり、田子の浦では汀線より水深5mまでは1/5の急勾配で、波は沖で砕けることなくまともに打ちつづける。

(3) 係留施設

Table of mooring facilities with columns: 区分 (Division), 名称 (Name), 管理者 (Manager), 延長 (Length), 構造 (Structure), 主要用材 (Main Materials), 現況 (Status), 備考 (Remarks).

(6) 荷さばき施設

Table of cargo handling facilities including equipment types, capacity, and location details.

(7) 保管施設

Table of storage facilities with columns: 区分 (Division), 名称 (Name), 管理者 (Manager), 棟数 (Number of Buildings), 総床面積 (Total Area), 収容能力 (Capacity), 取扱貨物 (Handled Goods).

1 沿革

古くは「吉原港」と呼ばれた田子の浦港は、駿河湾の最奥部にあり、富士山麓の南を流れる沼川と調井川の合流点に建設された「掘込式港湾」で、昭和33年から十数年の歳月と総工費130億円をかけた完成した。

Large table detailing the history and development of the port, including various projects and dates.

3 使用料

(1) 港湾施設使用料

Table of port facility usage fees with columns: 区分 (Division), 算定単位 (Calculation Unit), 使用料金 (Usage Fee), 備考 (Remarks).

(2) 入港料

Table of port entry fees with columns: 区分 (Division), 算定単位 (Calculation Unit), 使用料金 (Usage Fee), 備考 (Remarks).

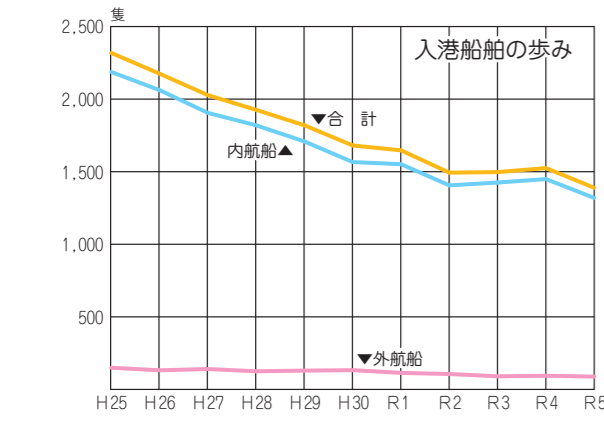
5 主な港湾関係官公署・団体

Table listing various government offices and organizations related to the port, including names, addresses, and phone numbers.

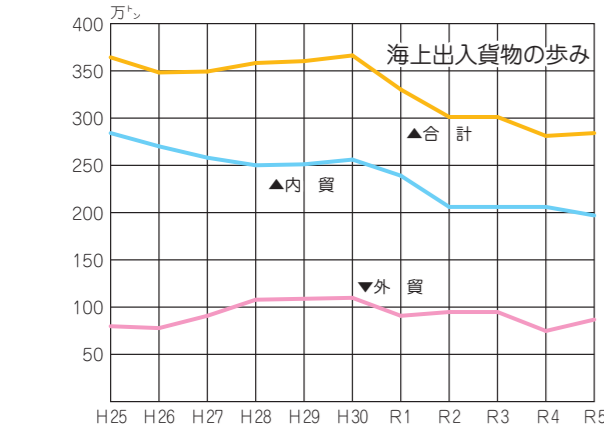
4 港勢

令和5年統計による入港船舶1,391隻の内訳は、外航船舶71隻(5.1%)、内航船舶1,320隻(94.9%)となり、前年比138隻(9.0%)の減であった。

(1) 入港船舶年次推移表



(2) 海上出入貨物年次推移表



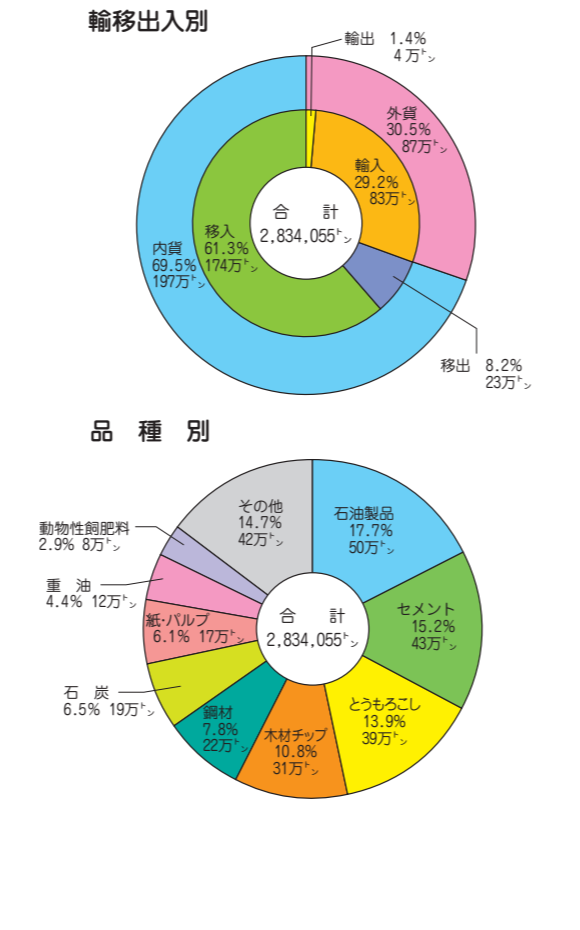
(3) 主要取扱貨物の推移



(4) 入港船舶の構成 (令和5年)



(5) 海上出入貨物の構成 (令和5年)



持続可能な循環型経済活動、を目指す取組みを支援する田子の浦港

富士市の主要産業である紙パルプ産業界は様々なリサイクルに取り組んでいます。製紙原材料の古紙の再利用、生産工程で発生するペーパースラッジや廃材からの木屑などによるバイオマスエネルギーの有効利用、自家発電設備の導入による「エネルギー地産地消」。

田子の浦港は、全国の静脈物流ネットワークと結ばれています。

- 製紙のまち富士市は、古紙の集散地となっています
●港から運ばれた鋼材から製造過程で生じたスクラップは、再利用するため国内外に船で運ばれます
●海外から運ばれたトウモロコシの「穀りかす」は、飼料として船で酪農地域へ運ばれます
●電気エネルギーに転換された石灰灰は、外壁材やセメント材料として利用するため他地域に運ばれます



田子の浦港要覧 2024 令和6年3月発行. 編集・発行: 静岡県田子の浦港管理事務所. 印刷・製本: 文光堂印刷株式会社.